

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市青少年交流プラザ

団体名：トヨタエンタプライズ・ShoPro 共同事業体

(株式会社トヨタエンタプライズ・株式会社小学館集英社プロダクション)

1 管理運営全般について

① 施設管理運営の基本方針等

<施設の目指す姿>

青少年の誰もがいきいきと輝き、まちを支える主体として共に成長できる交流拠点

<基本方針>

1. すべての青少年に向けた、出会いづくりの推進
2. 青少年の市民性を育む、複層的な支援活動の拡充
3. 本館・分館の相乗効果を生み出す一体的な運営による施設効用の最大化
4. 誰もが安全に安心して利用できる施設環境づくり

<運営指針>

- ・公平性・平等を確保した管理運営
- ・行政や関係団体と連携した管理運営
- ・地域に根差した管理運営
- ・関係法令を遵守した管理運営
- ・環境に配慮した管理運営
- ・コスト削減を可能とする管理運営

② 管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

<職員体制>

職種	本館	分館
総括管理責任者	1 名	
副総括管理責任者	1 名	1 名
事業担当者	3 名	3 名
事業スタッフ	2 名	—
受付事務スタッフ	7 名	4 名
日常清掃スタッフ	2 名	3 名
営繕スタッフ	—	2 名
宿直業務員	—	3 名

<人材の確保>

- ・総括管理責任者及び副総括管理責任者となるマネージャー層は、各々の責任業務に対する十分な知識と経験値を持った人材を社内異動により配置します。
- ・事業担当者や受付事務スタッフ等の実務者は社内異動と新規採用を計画します。
- ・新規採用においては、地域人材の活躍を前提とした積極採用を実施します。

<育成計画>

- ・基礎的な研修はもちろん、当グループのノウハウを結集し業務ごとの実務研修や勉強会を体系的に実施することで職員の資質向上を図ります。

2 事業運営の実施計画について（仕様書Ⅲ事業）

① 青少年が集まり、つながる拠点を作る事業（Ⅲ－１）

- ・プラザを活動拠点とする団体グループの活動が、さらに活性化することを目指します。
- ・新しい仲間づくり、コミュニティの広がりを生み出す交流機会をつくり出します。

② 総合支援プログラムを通して青少年に直接働きかけ、育成する事業（Ⅲ－２）

- ・「一層目：人につながる支援」として、体験機会の提供及び自己認識・他者理解を深められる事業を行います。
- ・「二層目：地域・まちにつながる支援」として、青少年を地域とつなげ、自己有用感を高めるプログラムを行います。
- ・「三層目：地域・まちに働きかける支援」として、青少年の興味を、地域から社会へと広げるプログラムを行います。

③ プラザ活動を市内に広く展開する事業（Ⅲ－３）

- ・アウトリーチの実施やオンラインの活用を行い、市内全域へ発信します。
- ・地域とのコミュニケーションの場をつくり、市内全域へと事業を拡大します。
- ・育成から活動へ、地域へ還元できるボランティアの醸成に取り組みます。

④ 青少年に関する各種の団体、施設等との連携（Ⅲ－４）

- ・青少年が将来にわたっても地域と関わり続けたいと思える連携を行います。
- ・教育機関との連携において、専門機関の研究や知見を取り入れ、トレンドを捉えた企画を提供します。
- ・地域のハブとなる施設として様々な団体と連携し、青少年のキャリア形成につなげます。

⑤ 青少年に関する情報収集、発信、ニーズの把握（Ⅲ－５，６）

- ・青少年個々の状況に配慮しながら地域参画度に応じた戦略的広報を実施します。
- ・青少年と協働した公式サイトの制作・運用やSNS活用、コミュニティ機関誌の発行を行います。
- ・青少年自身にスポットを当て、多様性を輝かせられるメディアを制作します。

⑥ 青少年のプラザ運営への参画、青少年のニーズを活かした運営（Ⅲ全般）

- ・青少年が自由な発想で意見交換できるカンファレンスを実施します。
- ・より多くの意見を取り入れるためオンラインでの参加も可能な環境を整えます。

3 収支計画について

① 管理運営にかかる費用等

<経費見積額>

年度	金額
令和5年度	163,500 千円
令和6年度	162,800 千円
令和7年度	163,400 千円
令和8年度	163,800 千円
令和9年度	164,000 千円
合計	817,500 千円

※この提案の概要は候補者になった場合、市公式ウェブサイト等で公表されます。